

安倍首相が、「憲法改正」の動きを強めています。「二度と戦争しない」「戦力を保持しない」と決めた憲法9条に、「自衛隊」を書き加えて、9条を大きく変えようとしています。

戦後70年以上、自衛隊は、戦争によって一人の命も奪わず、また、一人の命も奪われていません。憲法9条があるからです。その9条を変えて、日本がふたたび「戦争する国」になるなんて、ゴメンです。

「戦争だけはイヤだ」という思いを「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」(3000万人署名)に集めましょう。

安倍9条改憲NO! 憲法を守り、いかそう

「9条守れ」の声を3000万人署名に



9条に「自衛隊」を書きこめば、「戦争する国」へまっしぐら

安倍首相は、「9条加憲」で、「憲法9条に『自衛隊』を書き加えるだけ」と言いますが、そうはいきません。「後からつくった法律は、前の法律に優先する」ことが法律の世界の一般原則です。「自衛隊」を明記した条項が後からつくられれば、「戦力を保持しない」と決めた9条2項は空文化=死文化されてしまいます。

9条の歯止めがなくなり、海外で無制限に武力行使できる「戦争する国」にまっしぐら、軍事費をさらに増やして、福祉や教育の予算を削っていく…。そんな9条破壊は許されません。

「朝鮮半島で戦争を起こしてはならない」対話による解決を

「北朝鮮の核・ミサイル開発問題の1日も早い解決を」と、多くの人が願っています。絶対に、朝鮮半島で戦争を起こしてはなりません。米国の退役軍人の上下両院議員16氏は「地上戦になれば数日で数百万の死者が出る」と警告しました。世界じゅうの世論が、北朝鮮とアメリカの対話による平和的解決を求めています。

「対話は意味がない」と、軍事的圧力強化を認める安倍首相の対応は、世界から孤立し、事態を深刻化するものです。平和外交こそ、解決の道。今こそ、憲法9条を生かすときです。

日本政府は核兵器禁止条約に調印を

2017年のハイライトは、何といっても「核兵器禁止条約」が国連で採択されたことです。

歴史上はじめて核兵器を違法化し、全面禁止した「核兵器禁止条約」は、被爆者の願いの結晶であり、憲法9条の具体化です。この条約を生み出した力は、平和を求め、世界の世論と運動です。

ところが、日本政府は、この条約への参加を否定し、平和を求め、世界の流れに背を向けています。日本政府に条約調印を求めましょう。

